

結核関連映像作品上映会

会場：郷土博物館映像展示室 定員25名先着順(予約不要)

①2月19日(土) 13:30～

「再起への道－肺機能訓練療法－」

結核予防会療養所保生園において日本導入直後の肺機能 訓練療法の様子を撮影したドキュメンタリー作品

昭和34年制作 21分 モノクロ

「生きぬく－回復者の記録－」

昭和30年代、結核回復者は社会復帰、特に就職問題で非常に苦しみました。そこにあった偏見とは。アフターケア施設で行われた社会復帰のための職業訓練も描かれています。

昭和36年制作 30分 モノクロ

②3月19日(土) 13:30～

「結核とのたたかいは続いている」

結核菌により病巣の広がる様子や細胞免疫の仕組みを映像として明らかにした作品

昭和48年制作 30分 カラー

「サッパと老人」

ドキュメンタリータッチで三陸の漁村を舞台に起きた家庭内感染を描き、予防を訴えた作品

昭和41年制作 36分 モノクロ

③4月16日(土) 13:30～

「結核と闘う」

結核の治療や研究にあたる人々の様子を記録したドキュメンタリー

昭和31年制作 17分 カラー 日映科学映画製作所

この作品には、手術中の様子や実際の病巣の写真、動物実験、解剖の映像が含まれています。医学発展のために命をささげた小さな動物たちがいたことも心にとどめご覧ください。

「家族のころ」

結核を発症した父親は家族の生活を思って、結果を恐れ受診に行かなかった。しかし家族の思いを受け入れて……。結核を通して家族の助け合いを、軽快なテンポで描いた作品

昭和43年制作 32分 モノクロ



市史編さんイメージキャラクター
「市史爺」